

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	水質管理事業		コード	01-01-09-06
			担当課・係	水道工務課水源係
			担当者	岡崎英二
			電話	66-9791
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	上水道及び簡易水道		

事業について				
目的 (何のために)	市民へ給水する水道水としての水質基準に適合する浄水の水質管理を行い、安全で良質、しかも安価な水道水の安定供給を図れる。			
対象 (誰・何を対象に)	備前市の上水道使用者			
内容	水質検査(定期・毎日)、濁度管理(毎日)			

事業の結果				
実施項目	17年度		18年度	
	回数など	(単位)	回数など	(単位)
水質検査(原水・浄水基準項目)	12	ヶ所	12	ヶ所
水質検査(原水・浄水簡易項目)	36	ヶ所	36	ヶ所
水質検査(原水・浄水簡易項目)	96	ヶ所	96	ヶ所
水質検査(水質管理目標設定項目)	4	ヶ所	4	ヶ所
水質検査(原水目標菌)	72	ヶ所	72	ヶ所

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,538	間接補助金等		直接事業費	6,056	間接補助金等	
	人件費	11,781	委託費負担	17,319	人件費	11,564	委託費負担	17,620
	合計	17,319	市債		合計	17,620	市債	

必要人員	170	人	145	人		
結果指標	結果指標名		結果指標名			
	水質検査(原水・浄水基準項目)		水質検査(原水・浄水基準項目)			
	結果指標量	12	結果指標量	12		
	単位	ヶ所	単位	ヶ所		
	対前年比	100.00%	対前年比	100.00%		
	活動にかかるコスト	1,755,600	円	活動にかかるコスト	1,751,600	円
	単位当たりコスト	146,300	円	単位当たりコスト	145,900	円

事業の成果				
どのような成果を得ようとしているか	水質基準に適合した安全な水を市民へ供給する			
成果指標名	水質基準の適合率	式又は説明	定期水質検査の結果が水質基準に適合している割合	
	17年度	18年度		
成果指標量	100%	100%		
対前年比	100%	100%	0.00%	
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等:)	妥当性評価<A~E> A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	本事業は水道法に基づき水質管理をしており、定期水質検査、臨時水質検査を行い、常に安全な上水道を利用者に供給しており、目的、対象は妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> A
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	検査項目の検査回数を減らす。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> A	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
事業を縮小している		吉永地区の定期水質検査場所の変更、及び1ヶ所増やしている。
目標値	結果指標量 13	結果指標量 104
成果指標量	1	

総合評価	今後さらに厳しくなる水質検査に対応するため、広域水道企業団、岡山県健康づくり財団と連携しながら技術力の向上に努める。	評価区分<A~E> A
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	吉永浄水場の紫外線設備の設置	平成20年度	クリプトスポリジウム対策